



# ははこぐさ



㊦っとたずねよう ㊧んとつながろう ㊨っかりきたえよう  
令和7年度最終号 三田市立母子小学校 学校だより ~きらきら かがやく 母子っ子

## 母子小学校 卒業式・修了式

母子の里に春がやってきました。今年度も保護者・地域のみなさまには子どもたちを温かく見守り、たくさん支援していただきました。おかげさまで、令和7年度三田市立母子小学校の修了式を迎えることができます。本当にありがとうございます。

23日(月)の卒業証書授与式では1名の児童が卒業しました。卒業生は、6年生になってから、先輩たちがされてきたことを自分にできるか不安を感じていたようです。しかし、そんな様子を見せずに、リーダーシップを発揮し、母子の伝統(レガシー)を見事に継承してくれました。そんな姿を見ていた在校生は、先日の『6年生を送る会』でも、感動する企画を考え、見事に運営することができました。このように6年生の背中を見ていた在校生たちは良き伝統を受け継ぎ、励んでくれることと思います。

卒業式の中で卒業生が語った「旅立ちのことば」を紹介します。

『地域・育友会の方々へ』地域の皆さん、育友会の皆さん。今までいろいろな場面で支え、励ましていただき本当にありがとうございました。神楽では最初とても不安でしたが、丁寧に教えていただいたので、芸術の集いでは納得のいく舞いことができました。神楽の先生からの声掛けが、がんばる支えとなりました。母子小で学んだ「つながる」ということを大切にして、中学校でもがんばっていきます。

『在校生の皆さんへ』いつも僕を支え、元気をくれてありがとう。不安で心配だった時は、いつも背中を押してくれました。そのおかげで、自信を持ってやりきることができました。本当にありがとう。在校生の皆さん、これからも力を合わせてがんばってください。

『最後に…』たくさんの人とつながり、たくさんの経験をし、たくさん学んだ小学校生活でした。母子で学んだことを忘れず、夢と目標に向かってしっかり歩いていきます。

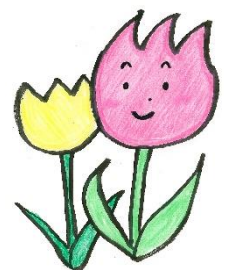
ありがとう皆さん、ありがとう母子小学校。



母子小で育んだ『生きる力』は、きつといかされます。明るく晴れやかな未来での活躍を応援しています。

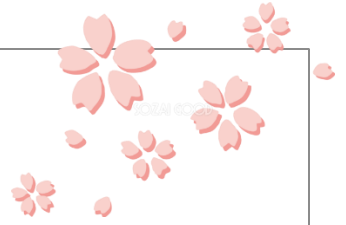
## つながりを育み、つながりを生かす

今年は重点テーマを「シン・母子小学校」と設定し、教職員へは、「**信**頼される・**信**頼し合う教職員集団にて、**新**しいワクワク一杯の授業を通して、**真**の教育の実現を目指そう。」と話し合いました。また、子どもたちへも、「**新**しいことにチャレンジし、学びを**深**め、**進**歩し、**真**の仲間と関わり、きらきらと**シ**ャイン(輝かそう)。」と年間を通して、語ってきました。子どもたちは、日々の授業や様々な行事を通して、たくさんの「シン」に挑み、大きく成長して、「シン」を育みました。これからも母子小の「シン」は、輝き続けることかと思えます。そして、最後の「シン」は、**心**です。母子小にはたくさんの心があり、その心を継承してきました。また、様々な教育活動を通して心のつながりも育てています。これからもこのつながる心を皆さんと共に大切にし、心がぽかぽかを感じる学校を目指していきます。



母子小俳句 ありがとう 言葉にのせて 春光る

## 新年度 主な4月の行事予定



1日(水)～7日(火)

学年始休業日

8日(水) 着任式 1学期始業式	25日(土) 授業参観 育友会総会 引渡し訓練
9日(木) 児童下校 11時30分	27日(月) 振替休業日
10日(金) 児童下校 11時30分	29日(祝・水) 昭和の日
13日(月) 児童下校 11時30分	30日(木) 歯科検診
14日(火) 給食開始 14:50 下校	
20日(月) 内科健診 母子家庭読書の日	
23日(火) 全国学力学習状況調査	
24日(水) 全国学力学習状況調査 (質問紙)	

次年度の主な4月行事計画となりますので、新しい行事が入ったり、変更になったりする場合があります。新年度の「ははこぐさ」、学年通信等でご確認ください。

### 学校評価アンケート結果より

～ 児童アンケートより ～

【よかった点】

- ☆「友だちと楽しく過ごしている」「自分や友だちを大切にしている。」
- ☆「勉強は楽しい」「わからないことはおたずねをしている。」
- ☆「毎日、朝ごはんを食べている。」「宿題をしている。」

【課題点】

- ★「家で進んでお手伝いをしていない」と考えている児童がいる。
- ★「いじめられていない」「困ったときに相談をする人がいる」に否定的評価を付けている児童がいる。

【考察】いじめについては、「いじめ対応チーム」を中心として、継続して「早期発見」「早期解決」に努めていく。「相手の思いを考えられる子になってほしい」との思いを持って、教職員全体で児童の様子を見守っている。学習に関して、算数科のガイド学習を中心に「おたずね」による気持ちや考えの伝え合いを続けてきた成果が見られる。お手伝いは家族の一員としての役割につながる。やり切ることで自信につながっていく。

～ 保護者アンケート ～

【よかった点】

ほとんどの保護者から、肯定的評価をいただいている。特に、

- ☆「学校の授業をよく理解している。」
- ☆「学校は、いじめに対して適切に対応している。」
- ☆「楽しく学校に通っている。」
- ☆「十分な睡眠をとっている。」の各項目においては、高評価をいただいている。



【課題点】

- ★「進んでお手伝いをしていますか」 ★「進んであいさつしていますか」
- ★「進んで読書をしていますか」 の3つの項目に関する質問には否定的で低評価である。
- ★「学校からの各種便り(通信)が家庭で話題になっている」も低評価である。

【考察】あいさつについては、地域からは「よくあいさつができていく」との言葉もいただいている。

課題の解決に向けて、家庭との連携が大切であり、今後も保護者の皆様と情報の共有を進めていく。

いただいたご意見は来年度の学校運営に活かしていきます。ご協力ありがとうございました。